



今月のみことば

「わたしは弱いときにこそ強いからです。」

コリントの信徒への手紙II 12章10節

私たちは弱さを否定的に捉え、隠して生きていこうとする部分があります。しかし、弱さは自分と向き合う機会を与えてくれます。そしてより人間らしく生きるためには必要なことのように思います。順調で健康な時には気づかないことも弱さの中において気づかされることがあります。

10年ほど前に病院で、ある患者さんと関わる機会がありました。Fさんは右足が無く、左足も手術をしなければならぬ状態でした。気分の良い時は昔の自慢話や好きなことを話していましたが、そうでない時は看護師に横柄な態度をとったり話す言葉もキツくなったりしていました。しかし当の本人は葛藤を抱え病に苦しみ、涙を流す毎日を過ごしていました。

Fさんと関わり始めて数か月が経った頃、病院に併設されていたチャペル(礼拝堂)に一緒に行きました。その時にFさんが一言「汚い言葉言ってもええかな？」と聞かれ「どうぞ」と答えると、とても大きな声で「ばかやろお～！俺は情けないっ！何もできないし、人に迷惑をかけてばかりだっ！」と涙を流しながら思いのたけを叫んだのでした。その翌日、Fさんを訪ねると「大切なことが分かったよ、それは今の全てを受け容れて一生懸命生きることだ」と話すFさんの表情は明るく笑顔で溢れていました。それから奥様に感謝の手紙を書いて渡し、病院の職員にも笑顔で感謝の言葉をかけていたFさんの顔を今でも覚えています。その10日後にFさんは亡くなりました。チャペルでの出来事から亡くなるまでの間に私はFさんから大切なことを教えてもらいました。

私たちは誰でも弱さを抱えています。それは身体や心の傷とも言えるでしょう。その弱さをどのように取り扱うかは私たちの自由ですが、もしその弱さに向き合うならばFさんのように大切な気づきを得るのではないかと思います。

傷(キズ)は気付き(キヅキ)を与えて、やがて絆(キズナ)に変わります。自分の弱さは本当の強さに気付くための神様からのプレゼントなのかもしれません。

弱さの中にこそ働く神様の力に励まされて歩いていく者でありたいと思います。

園長 沼津 孝治

苦情解決委員会

- 苦情解決責任者 沼津 孝治
- 苦情受付担当者 松尾 恵美
- 第三者委員 花岡 尚樹 畑 健次郎
- 酒井 咲子

2月園だより

2024年度

法人の理念

キリストの愛の精神に立って、福祉サービスを必要とするすべての人に仕え、日常を支援し、常に人びとの人権を護りその人格の尊厳を尊重します。

寒い日が続いていますが、子どもたちの元気な声が室内を暖かくしてくれます。2月は最も寒い時期になりますが、土の中では新しい命が芽吹く準備をし春が来るのを待っています。子どもたちの新しい歩みに向かう毎日を大切にし、暖かく成長を見守っていきたいと思います。

お誕生日おめでとう



園外保育 (お弁当いります)



冬ならではの事故やケガに気をつけましょう

- 厚着に気をつける。
服を重ね着しすぎて、動きにくい服装になるととっさの行動を妨げて事故やケガに繋がります。身体を動かすことで、身体の内側から温める習慣をつけましょう。
- ポケットに手を入れない。
寒いと、ついポケットに手を入れてしまいます。手を入れたまま歩くと、転んだ時に手が出ず、顔を地面で打ったり、歯が折れたりするケガにも繋がります。習慣にならないように気をつけましょう。

今月のねらい

- しいの実 友だちや保育者と関わり、好きなあそびを楽しむ。
- たんぽぽ 友だちや保育者と簡単なごっこあそびを楽しむ。
- みず 寒さに負けず、戸外で身体を動かして健康に過ごす。
- かぜ 友だちとあそびを楽しむ中で関わりを深め、自分の思いや考えをことばで伝える。
- そら 自分なりの目標を持ち、友だちと一緒にやり遂げる喜びを味わう。



2月の行事

- 1日(土)～5日(水) 中京区保育園児絵画展(会場：ゼスト御池 寺町広場)
- 3日(月) 豆まき
- 3日(月)～4日(火) 明治国際医療大学実習生受け入れ
- 14日(金) 制作展 PM4:30～6:30まで
- 17日(月) 卒園記念写真(たいよう組のみ撮影)
- 19日(水) 巡回個別相談
- 21日(金) お誕生会
避難訓練…未定



諸費請求お知らせ
25日(火)
エンペイ支払い期日
25日(火)～27日(木)

個人面談…希望される方は職員室までお声掛けください。

3月22日(土)は卒園式です。そら組(4歳児)は共にお祝いしますので、出席をお願いします。※9時30分集合で、11時頃お迎え予定です。